

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 姉妹都市小中学校交流事業補助金
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	2	姉妹都市交流等の推進
事務事業番号	005	事務事業コード 62112005 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	姉妹都市小中学校交流事業補助金
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> <p>歴史的にゆかりのある相互のまちを理解し、学校間の交流を推進するとともに、友好を深めること。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> <p>歴史的にゆかりのある相互のまちを理解し、学校間の交流を推進するとともに、友好を深めることを目的として、児童生徒の派遣・受入れを行っている姉妹都市小中学校交流事業実行委員会に対し、運営を支援するため補助金を交付する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと豆記者交流事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>～ 小学生10名が2泊3日の行程で相互に姉妹都市を訪問。 平成22年度は、白石市から6名の児童が登別市を訪問。鷲別小学校にて交流会を実施</li> </ul> </li> <li>・ふるさとのまちを語る交流事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>～ 中学生2名が2泊3日の行程で相互に姉妹都市を訪問。 平成22年度は、2泊3日で登別市の中学校2校から2名の生徒が白石市を訪問。</li> </ul> </li> </ul>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> <p>姉妹都市への認識と理解を深め、交流の推進が図られる。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	参加児童生徒数	人	目標値	12	0	0	0	0
			実績値	8				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	257	0	0	0	0	0
合 計			257	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	166	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		166	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 平成23年度より海老名市・白石市とのトライアングル交流がはじまり、総務グループにて予算計上。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 普段あまり意識したことが無い姉妹都市について、体験を通じ学習する機会となっている。 また、姉妹都市との対比により、登別市を見直す機会にもなっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 訪問及び受入れ前後に、姉妹都市に関する情報を周知すること等により、姉妹都市への理解を深める。 姉妹都市についての学習テーマを設定するなど、学習方法を検討する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 補助の大部分は、訪問経費となっており、これ以上の削減は、参加児童生徒数の減少など事業の縮減をまねく恐れがある。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成23年度から協議会事務局が市総務グループへ移行される。これに伴い、姉妹都市交流に係る補助金については一括して総務グループにて予算計上されることとなるため終了とする。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）